

海夫通信 第48号

【海夫】潮の香りをほのかに残すここ霞ヶ浦にもかつては多くの海の民がいた。海に寄り添い、潮の流れとともに暮らしていた人たちに思いを寄せて、今生きる霞ヶ浦の海夫たらんとす。

NPO法人霞ヶ浦アカデミー会報



CONTENTS

- 【連載】 霞ヶ浦北浦 歴史的な不漁の謎を解く
- 【新連載】 霞ヶ浦歴史散歩
- 【報告】 イースター「コイ・フナたまご探し」他

その2 種類毎の漁獲量変動をみる

を解く

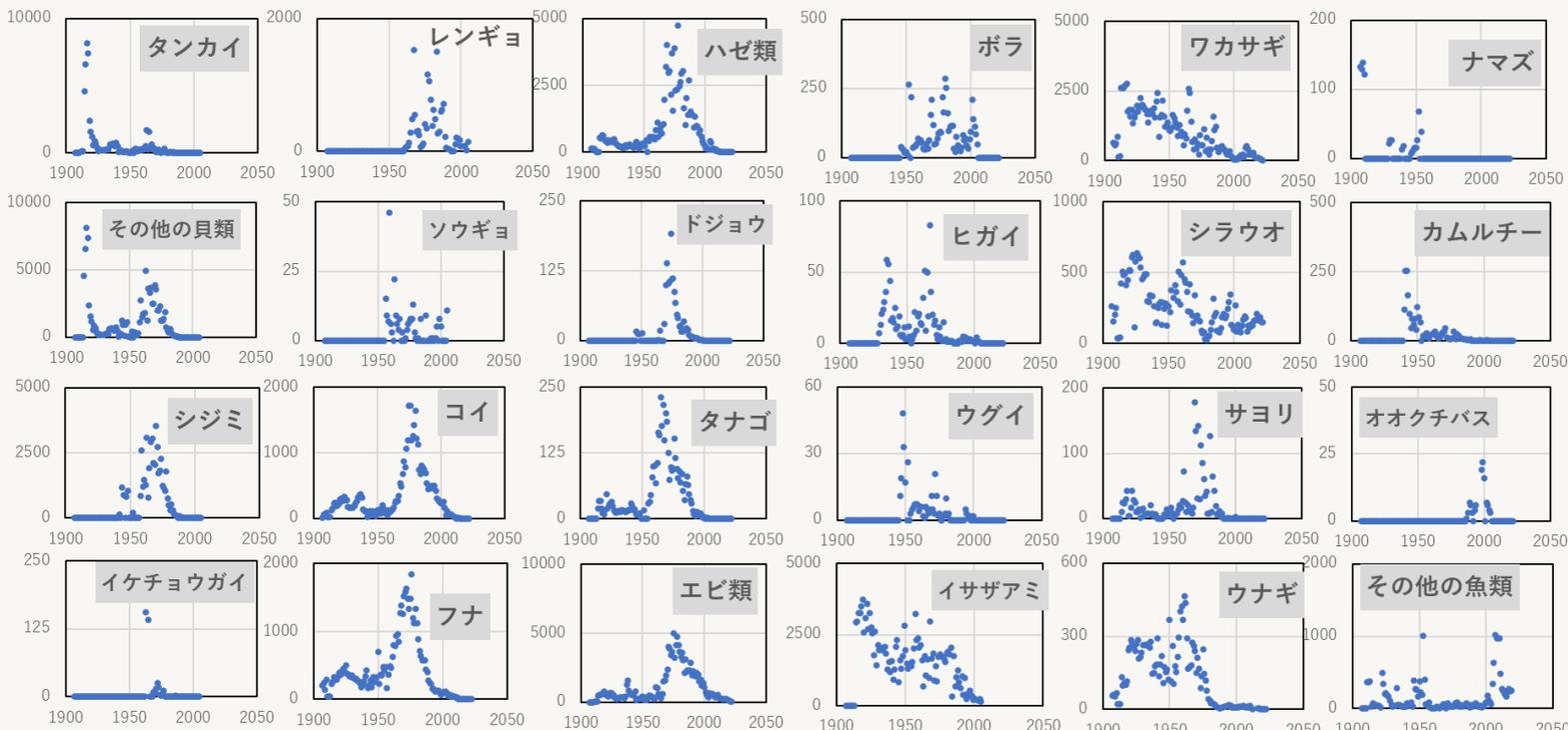


浜田篤信。東北大学農学部修士課程修了(海洋学専攻)。農学博士。東北大学助手を経て、茨城県水産試験場内水面试験場に勤務。茨城県内水面水産試験場長として活躍後、(有)霞ヶ浦生態系研究所を設立。霞ヶ浦アカデミー監事。

ワカサギは、日本全国で賞味される霞ヶ浦北浦の特産品ですが、最近「ワカサギ不漁」が新聞紙上でとりあげられています。不漁はワカサギに限られたわけではなく、佃煮の原料であるハゼ類やテナガエビでも同様でイカダヤキに加工されていたタナゴ類や小鮒は「不漁」を超え絶滅に瀕し話題にさえならない状態です。

前回は漁獲量の変動を総漁獲量で見ましたが、漁獲量は種によって異なります。霞ヶ浦北浦では百種類以上の種が確認されていますが、漁獲対象となつて公的統計値として記載されているのは二十八種です。その内の二十四種を図にしてみました。

図は、左上の濾過摂食者のタンカイから右肉食魚のオオクチバス(ブラックバス)までを食物連鎖順に並べて図示してあります。



貝類

1900年以降、最初に漁獲量が増えたのはタンカイ(カラスガイ)です。カラスガイは淡水の大型二枚貝で水中の有機物を濾過摂食します。大根と一緒に煮物にして食卓に上がりました。また、貝殻はワイシャツのボタンの原料となりました。

シジミが漁獲対象となるのは1944年頃からです。漁獲対象となつてヤマトシジミは塩分を必要とするので霞ヶ浦北浦では、湖尻に近い沿岸帯が漁場となっていました。主な漁場は外浪逆付近および常陸利根川でした。常陸川および利根川のシジミは、霞ヶ浦北浦で生産された植物プランクトンを摂食して成長するのでこの分を加えると漁獲量は約4万トンに達し全国第一を占めていました。現在、シジミ漁獲第一位は宍道湖の約4千トンです。宍道湖では1973年頃には約2万トンの漁獲がありました。その約2倍の漁獲を誇っていたことになりました。

二枚貝で忘れてならないのはイケチヨウガイです。琵琶湖から移植放流されましたが

動物プランクトン食種

タンカイに続いて漁獲量が上昇したのは動物プランクトン食のイサザアミ、ワカサギおよびシラウオです。サヨリ(和名・クルメサヨリ)でも、漁獲量の上昇がみられますが、サヨリでは1970年頃に顕著な上昇がみられます。ワカサギ、シラウオおよびサヨリは、動物プランクトン食ですが同じ動物プランクトン食であっても、漁獲変動には若干の差がみられます。ワカサギとシラウオでは1940年頃と2000年以降にシラウオが資源量優位であるように見えます。霞ヶ浦総合開発事業影響調査(事前調査)では、シラウオは塩分の影響が大きいのではないかと考えられていましたが、現在の霞ヶ浦では、なお漁獲対象となつています。シラウオは、産卵期がワカサギよりも

1963年頃から1985年頃まで漁獲されてきました。淡水真珠の母貝として地元や琵琶湖の真珠業者に出荷されてきました。その他、1970年代にはオオタニシ(統計値:その他貝類)も漁獲されてきました。

浦北浦々霞

謎の不漁の歴史

若干遅れるという違いもあります。産卵床は、ワカサギおよびシラウオでは砂質、砂泥質の湖底ですが、サヨリでは沈水植物で、こうした生態の違いも資源量に影響を与えていたものと考えられます。

イサザアミもワカサギ・シラウオに近い漁獲量変動を示しています。本種は動物プランクトンを食べますが、ワカサギ、シラウオの漁獲量が減少した時代（1963～1975）にも比較的高水準を保っているため、食性の幅がワカサギ・シラウオよりも広く、動物プランクトン以外の餌も利用しているものと考えられます。

雑食性魚類

動物プランクトンだけを利用しているのはワカサギ、シラウオ、クルマサヨリで、イサザアミは雑食性種にここでは含めます。動物プランクトン食のワカサギ・シラウオが減少し始めると、それらに替わってフナ類、コイ、ドジョウ、タナゴ類、ハゼ類、エビ類の漁獲量が増えてきます。これらの魚類はいずれも雑食性で特にフナ類（キンブナ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ）、コイ、ハゼ類（ヌマチチブ、アシシロハゼ、ウキゴリ、マハゼ、ジュズカケハゼ）、エビ類（主としてテナガエビ）の漁獲量が1950～1990年の間に顕著なピークを示すという共通点が見られます。同じ雑食魚でもボラやウグイ（マルタを含む）、ヒガイでは若干異なる傾向がみられます。

肉食魚(捕食者)

肉食魚のウナギは上記の雑食後よりも若干早く上昇し始め、1980年以降急激に減少しました。ウナギの漁獲量変動

については、これまでも本誌上で取り上げてきましたので、それらを参照願います。

スズキも、在来の肉食魚で1955～1975年の間には百斤を超える程の漁獲があったこともありますが全生活のごく一部分を霞ヶ浦北浦に依存しているという点で図は省略しました。現在でも湖岸からの投網に入ることがあります。

この他の肉食魚としては、ライギョ（カムルチー）、オオクチバス、アメリカナマズ（チャネルキャットフィッシュ）が、漁獲対象となつていますが、いずれも外来種で、霞ヶ浦北浦に侵入したあと漁獲対象となりますが、その後は漁獲量が低減しています。

漁獲量変動を考察するのに注意したいのは「その他の魚類」です。「その他の魚類」は1925、1950および2010年頃の3回ピークがあります。2000年以降のピークは、アメリカナマズとハクレンが外来魚駆除事業によるものとみられます。それ以前の魚種については、よくわかりませんが、アユ、モツゴ、モロコ類、オイカワではなかったでしょうか。

まとめ

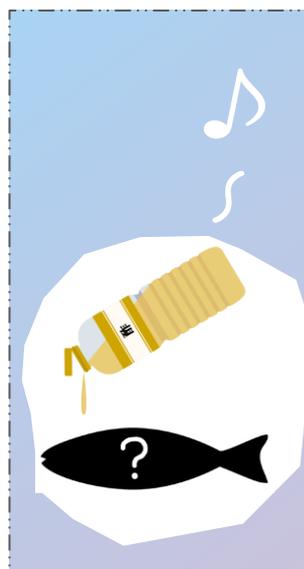
霞ヶ浦北浦の漁獲量は濾過摂食者（タンカイ、シジミ類、ハクレン）、動物プランクトン食（ワカサギ、シラウオ、クルマサヨリ）、雑食魚および肉食魚に大別できます。それぞれのグループの漁獲量は、例外もありますが、比較的近似した変動を示しています。

次号よりこうした点に注目しつつ変動の原因を検討していきます。

いきもの

謎謎

ある魚に「酢(す)」をつけたら、きれいな声でさえずりを始めたよ。この魚の種類はななんだ？



答えは7ページ

茨城県内でPFAS基準値超え相次ぐ

茨城県では、鉾田市や筑西市、つくば市など、井戸水から24倍もの値が検出。18の井戸水で国の暫定目標値を超えました。現在、住民への飲み水利用の指導が行われています。

茨城県では、鉾田市や筑西市、つくば市など、井戸水から24倍もの値が検出。18の井戸水で国の暫定目標値を超えました。現在、住民への飲み水利用の指導が行われています。

特に鉾田市では、井戸水から24倍もの値が検出。18の井戸水で国の暫定目標値を超えました。現在、住民への飲み水利用の指導が行われています。

PFASは泡消火剤や金属メッキ処理剤など幅広い用途で使用されてきました。分解されにくく、人や動物への毒性や蓄積性が明らかになり、環境中での検出が社会問題となつていきます。

かすみがうら 霞ヶ浦 歴史散歩 1

とうとうと水をたたえ、たたずむ霞ヶ浦。国内では琵琶湖に次ぐ大きさの湖で、霞ヶ浦(西浦)、北浦、常陸利根川、横利根川、鰐川といった5河川の総称です。こうした霞ヶ浦や周辺地域の歴史とともに、魅力的な自然現象や事柄、スポットなども紹介していきます。初回は霞ヶ浦のランドマーク、筑波山。

筑波山は、古くから山自体が信仰の対象として崇められており、多くの人が行き交う場でもありました。

筑波山の祭神は、8世紀に編纂された「日本書紀」や「古事記」に登場する国生みの神、イザナギとイザナミで、縁結びや夫婦和合の神として信仰を集めています。また、江戸時代には徳川家康が、江戸の北東(鬼門)に位置する筑波山を、江戸城守護の霊山としてしています。

「西の富士、東の筑波」と称される筑波山は、特に江戸時代、物見遊山の地として有名だったそうです。「常陸風土記」(8世紀)には、神祖(みおや)の尊(みこと)が神々の元を訪ね歩く途中のこと、立ち寄った富士山は新嘗祭の物忌み(※)を理由に宿泊を断ったのに対し、筑波山は食事などを用意してもてなしたため、人の往来が絶えなくなったとの伝説が記されています。

夏の霞ヶ浦湖畔では、筑波山の2つの頂の間に夕日が沈む「ダイヤモンド筑波」が見られます。おすすめは、筑波山を正面に見据える小美玉市玉里の西側湖畔。時期は5月中旬と7月下旬で

す。天候や観測位置など、見るには運や情報集めが必要かもしれません。それでも、自然が織りなす神々しい幻想的な光景は一見の価値あり。ぜひご覧になってください。

※物忌み ある一定の期間、飲食や行動を慎み、心身を浄めて穢れをさけること



ダイヤモンド筑波 2019年5月17日 筆者撮影

Writer S・H

プロフィール: 鹿行地区在住。地域のイベントなどを取材し、紹介しています。

霞ヶ浦版イースター「コイ・フナたまご探し」 4/20

イースターにはあらかじめ隠しておいた卵(主にイースターエッグ)を、子どもたちが探す遊び「エッグハント」が催される。今回はそんなキリスト教の行事ではなく、霞ヶ浦版のエッグハント。コイやフナがどのくらい産卵しているか卵を探した。

観察できた。また、多少であったが産卵行動「のこみ」も見られた。たも網、定置網では、アシシロハゼ、ヌマチチブ、テナガエビ、ボラ、モツゴを観察できた。さらに、タウナギ釣りをしている方もいて、大きなタウナギを見せて貰えた。



第5回霞ヶ浦葦舟世界大会、9艇が競う

3/1、2

最

多クチームが参加した春の風物詩「霞ヶ浦葦舟世界大会」。この大会は、自らアシを刈り、そのアシで自ら葦舟を作り、その葦舟を自ら漕いで、その性能を競う大会。大会実施により、アシ原を整備しながら、湖とつながる人を増やすことを目的にしている。

大会初日にはそれぞれ葦を刈り、舟をつくった。大会2日目、青木智也氏の司会・実況は昨年からの回目。「イバラッパー」と会場からの掛け声に「どーも」と茨城弁で返答するなど盛り上がった。

風も緩やかでレースには最高のコンディション。先頭争いは競り合い最後まで分らない展開となった。タイムレース部門は「上野 Joves」が制した。技能部門は「Lutri Lutto」に贈られた。



逆水門の魚道を見学、ウナギについて学ぶ

11/24

逆

水門（常陸川水門）は霞ヶ浦と海の間設置され、利水、治水などの役割を果たしている。一方、海とのつながりが断たれることで、多くの生き物の移動を阻んでいる。

ニホンウナギは河川で育ち、マリアナ海嶺で産卵することが知られているが、ウナギの稚魚「シラスウナギ」がこの水門を突破し霞ヶ浦に入るとは簡単でない。

今回、小学生5名、中学生2名が参加し、常陸川水門（逆水門）およびその魚道を見学。ウナギ財団若狭先生、国立環境研究所森先生の講義を聞きながら、どうしたらウナギが増えるか考えました。





カヌークラブから

2025.04.06潮来前川～加藤洲十二橋

今回の練習会は、お花見を兼ねて、昨年と同じく潮来へ。新人さんも参加です。桜や鯉のぼりをめでてから、常陸利根川を横断して加藤洲の閘門へ。



行方カヌークラブHP



コラム

Writer 西谷篤彦
元大学病院薬剤部・(独)医薬品医療機器総合機構勤務薬剤師。霞ヶ浦アカデミーの会員で、故郷の環境保全、地方活性化を願いつつ横浜と霞ヶ浦の家との二地域居住生活を続けている。

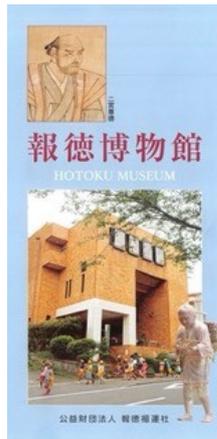


▼二宮金次郎(尊徳)博物館―報徳博物館見学
ところで玉川小学校から校歌の石碑の側に移築された二宮金次郎(尊徳)の石像。薪を背負った少年が歩きながら書物を読む姿。今なら危険な歩きスマホと同じで勧められないが、かつてそんな二宮金次郎(尊徳)(1787-1856)の石像や銅像を見たことがある人は我々の年代には多いだろう。朝礼の時など校長先生が台上でお話しされた側に立っていて当時小学校時代を過ごしたものには馴染みがありますが、二宮金次郎(尊徳)とは大人になって何をした人なのかよく知られていないのではないのでしょうか。

▼玉川応援歌と玉川小学校校歌
昨年11月7日に今は廃校になった行方市井上の玉川小学校の同窓会が霞ヶ浦湖畔の料亭「湖畔荘」で開かれ私を含めて7人が集まり旧交を温め楽しいひとときを過ごしました。私たちの学年は男性22人、女性22人で霞ヶ浦を眺めながら小学生時代を過ごしました。当時玉川小学校には校歌がなく、行事や競技の時は応援歌が歌われていました。私はそのメロディーと歌詞を覚えていたので、行方市浜に在住のオカリナ奏者、野口喜広・矢野恵子夫妻に楽譜に起こしてもらい、今回の同窓会で皆さんで合唱して大いに盛り上がりました。因みに校歌はのちに私の父、西谷大四郎ら発起人のおかげで作られ、歌われていましたが、廃校後は校歌の石碑は西蓮寺の境内に移築され、二宮金次郎(尊徳)の像と並んで立っています。西蓮寺を訪れた際は、ぜひ目を止めていただければ幸いです。



玉川小学校校歌記念石碑
報徳博物館



先日妻の読書会のメンバーと一緒に内村鑑三著「代表的な日本人」の一人である二宮金次郎(尊徳)のゆかりの地、小田原の報徳博物館を見学する機会がありました。二宮金次郎(尊徳)は江戸時代後期の農政家・思想家で報徳仕法と呼ばれた独自の方法で小田原藩、日光神領や茨城県(筑西市注1、桜川市)などを含む六百もの所領の復興に尽くしました。ひるがえって現在も米不足の状況、食糧自給率の低さは国家安全保障の危機に立たされていると良いでしょう。農業を活性化する政策を早急に押し進めてもらいたいと願います。

雲らねば 誰(た)が見てもよし
富士の山 うまれ姿で
いく世経(い)るとも

―二宮金次郎(尊徳)(1833年頃?)

玉川応援歌
勝つは体力
気力のしるし
玉川健児の
気合をみよや
雄々しきリズムの
理想の声に
立つて振えよ
健男児

玉川小学校校歌

作詞 中郡節二 作曲 中郡利彦

一 みどりの風に微笑んで
楠の若葉が雲を呼ぶ
ころも明るい学びの庭よ
みんな仲よく手を組んで
日ごと伸びゆけほがらかに
真理の真玉たずねゆく
歴史ゆかしい玉川の
のぞみゆたかにいそしむ窓
よ
仰ぎ尊いみ教えに
未来花咲かぐわしく
霞ヶ浦の地平線
三 筑波 はるかにかがやいて
ゆめは羽撃たく母校の丘よ
描くわれら航空路
光みなぎれとこしえに



気にやるニュース



ニホンアマガエル、実は2種

愛知教育大学らの共同チームは、日本列島および朝鮮半島のニホンアマガエル標本の分子遺伝学的、形態学的解析をもとに、近畿地方を境界として東側と西側で種レベルの分化が見られることを明らかにした。

アマガエル」として記載することとした。身近な生き物が実は別種という話題は実は少なくない。2022年には、茨城県や福島県などに生息するトウキョウサンショウウオの集団は「イワキサンショウウオ」と発表された。また、2019年にはコイ科の魚「カマツカ」が遺伝子が大きく異なる3系統いることが明らかになっている。(令和7年2月、出典：愛知教育大学プレスリリース)

ロケジャパン大賞 映画「あの花」部門賞 行方で撮影

映画やドラマのロケ地情報誌を発行するロケーションジャパン編集部(東京)が主催する「第15回 ロケーションジャパン大賞」の撮影サポート部門に、茨城県行方市内で撮影された映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」が選ばれた。

シヨンの一環としてロケ地誘致に積極的。多くの作品の誘致に成功している。ロケ地の活用を契機に、霞ヶ浦、北浦の自然資源が活用され、それにより自然環境の大切さに目が向けられていくことを願う。(令和7年2月、出典：行方市ホームページ)

本州初のトキ放鳥、能登で実施へ

かねてから検討されていた本州でのトキの放鳥の計画が正式に決まった。2026年をめどに能登地域で実施される運びとなった。

能登は本州最後のトキが生き残った場所。「能里(のり)」と呼ばれたトキが捕獲され、繁殖のために佐渡に送られました。翌年に死亡し、その後、佐渡のトキもすべて死んで、日本産のトキが絶滅した。この哀しい歴史を越えて、トキがついに能登に帰還します。震災からの復興を願う能

登地域の皆さんの心を支える存在になることが期待される。

なお環境省は「トキと共生する里地づくり取組地域」を選定している。「トキとの共生を目指す里地(B地域)」には古河市など県内5自治体を含む自治体フォーラムが選定されている。(令和7年2月、出典：環境省プレスリリース)

編集後記

無事に今号も発行できました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます。西谷篤彦さんのコラムでは「校歌」に触れておりました。僕の母校は小中共になくなり、幼稚園もなくなっています。

今年2月に筑波大学大学院人文社会科学研究群公開講座「文学資源としての筑波山」が開催されました。その中で高校校歌の中にある「筑波山」についての発表がありました。校歌という身近な文学がこうして失われようとしているのは残念です。(菊地章雄)

行方生まれ コウノトリ愛称決定

昨年6月に単立ったコウノトリのヒナの愛称が決定した。いずれもメスで「湖夢」「あーちゃん」「百華」。愛称は公募し、全国より170名(428件)の応募があったとのこと。

応募のあった愛称については、茨城大学学生による1次選考で6件まで絞り、その後、行方市内小学校6年生による投票を実施。上位3位の愛称を命名した。

なお令和7年度も市内で産卵が確認されている。(令和7年1月、出典：行方市ホームページ)

水景湧水地研究所

賢治清水

Vol.14



Writer 菊地早秋



今回紹介するのは岩手県の「賢治清水」です。賢治ってあの宮沢賢治？と思いきや、賢治が盛岡高等農林学校（現在の岩手大学農学部）在学中、玉井家に下宿していた際使っていた共同井戸の水脈から湧いています。賢治が実際に使った井戸も近くに保

存在しています。盛岡駅の近くで賢治が井戸を使っていたり、生活していたりしたと思うと、なんだかロマンチックですね。どんなことを考えながら生きていたのでしょうか。賢治清水に限らず、盛岡駅周辺は歩いて散策しているだけで知的好奇心がくすぐられる歴史的な町です。



ここがイチオン

湧水の近くには賢治自筆の「ちゃんがちゃがうまこ」という詩の石碑もあります。「チャグチャグ馬コ」とは色とりどりの衣装をまとった60頭近くの農用馬が、チャグチャグと鈴を鳴らせながら行進する盛岡の初夏の伝統行事です。

エリア...岩手県盛岡市
湧水地...賢治清水
アクセス...盛岡駅から徒歩約20分

連載第1回 野草キッチン ~野草を食べる意味とは？

日本には春夏秋冬、食べられる野草が生えてきます。これは世界中の人が羨む環境なのです。昔から日本には「旅先のものを食べると病気がしない」という諺があります。これは、滞在している土地と同じ空気と水で育っている作物を食べることにより、「食べ物によって、土地と体が折り合ってくる」という意味なのです。気候や環境が変化した時に、体も同じように変化することを迫られます。元来食べ物とは、その土地に生えているものを食べることで、体を変化させていく役割を担っているのです。現代のよ

日本全国の野草を食べながら旅をする、山菜ソムリエの山田証です。霞ヶ浦アカデミーの皆さんとも、野草やドングリと言った、自然の食べ物に触れ合うイベントをさせていたいています。

ほとんどの食べ物、流通経路でやってくる現代。食料難、防災意識が高まっているこの時代では特に、身の回りの自然のものの活用が大切だと感じています。



もちろん、野草でなくても、地域の野菜を食べることで、同じように環境に適応する体を作ってくれると思います。ただ、野菜は野草を窒素で薄めたようなものなので、体の変化はほんの少しです。野草は体を変化させる度合いが大きいのです。

うに、自分の住んでいる土地と関係のない食べ物ばかり食べていると、一見健康に見えるが、環境とは関係のない体が出来上がります。そうすると、環境と体の差異を埋める目的で、様々な病気がやっけてきます。本来病気を治すのも、体を環境に適応させる為に、体を変化させようとしてくるからです。普段から足元に生えているものを体に入れて、環境に合わせて体を変化させている人は、環境と体が折り合っているのです。病気になることが少なくなるので、昔の人は、そうしたことを分かって、この諺を残したんだと納得する毎日です。

野草を見分け方、使い方、また放射線や農薬、除草剤などとの関係も含めて、野草のことをレクチャーしています。皆さんとまた一緒にできるの良いですね。

野菜は一日360グラム摂ることを勧められていますが、野草を摂る量はほんの少しずつにします。普段使っている野菜と合わせて、少し野草も加えてみるのが、良いでしょう。



森山 山田 証
インストラクター
山菜ソムリエ

発行 NPO法人霞ヶ浦アカデミー

発行日 2025年6月15日

事務所 茨城県行方市浜370番地1

ホームページ <https://k-acad.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/kasumigauraAC/>

メールアドレス kasumigaura.academy@gmail.com

メンバー募集